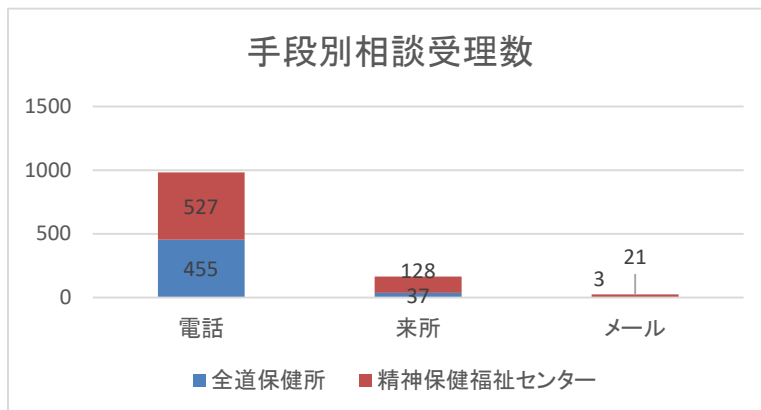


## 令和4年度地域依存症対策事業実績

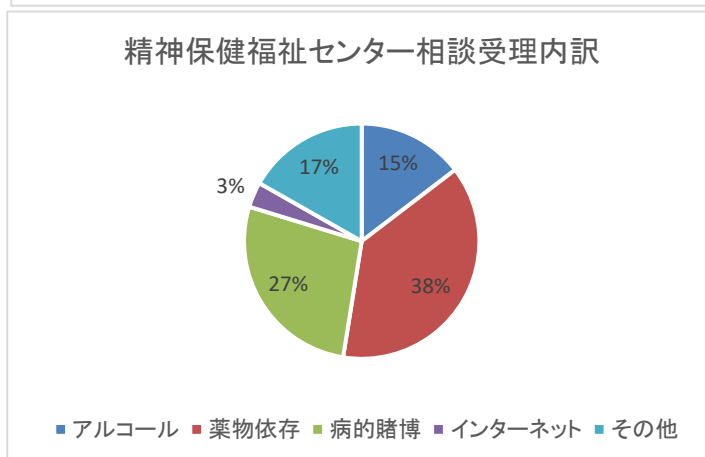
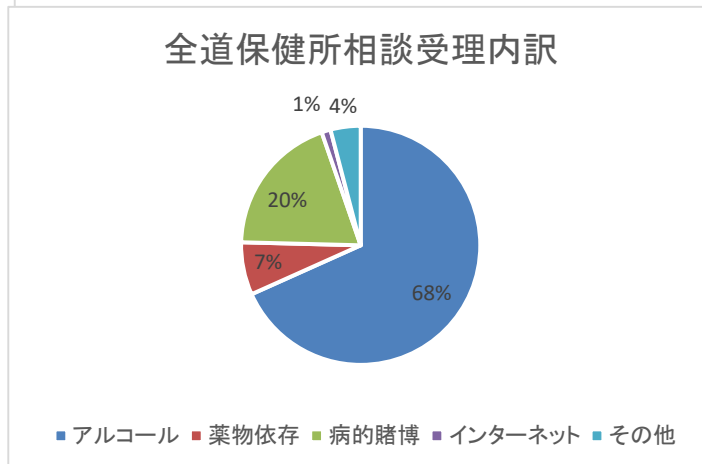
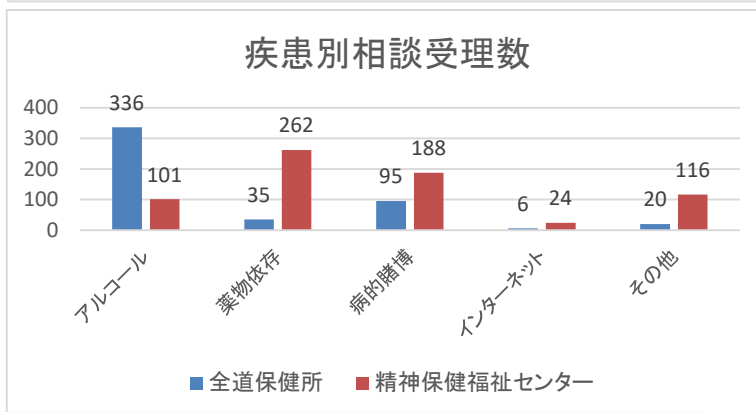
### 1.相談受理状況

【手段・疾患別】



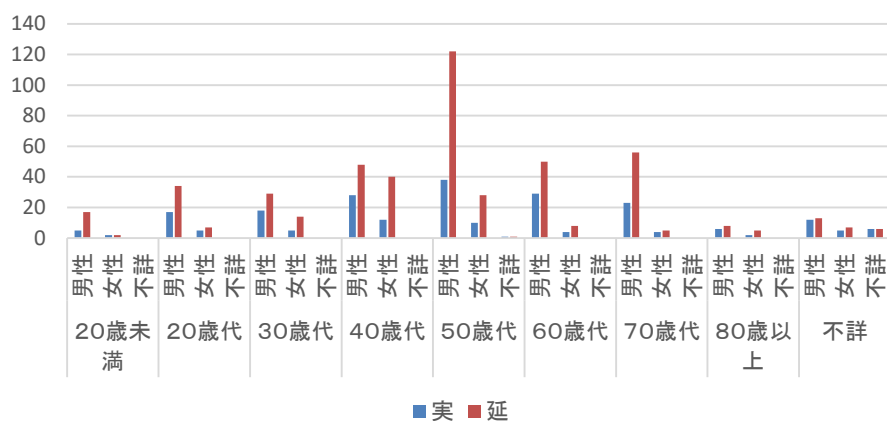
・保健所で対応している相談のうち68%がアルコールで、次いで病的賭博(20%)、薬物(7%)であった。

・精神保健福祉センターでの相談は薬物に関する相談が一番多く(38%)、次いで病的賭博(27%)、アルコール(15%)であった。



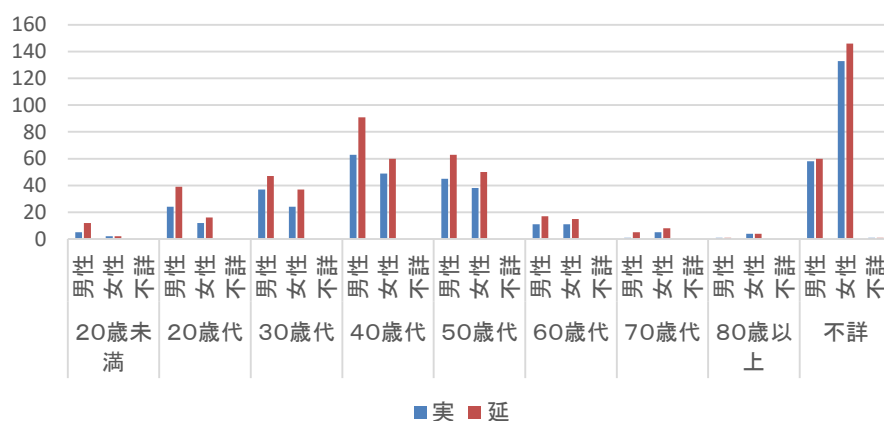
## 【性別、年代別】

### 保健所（相談全体）

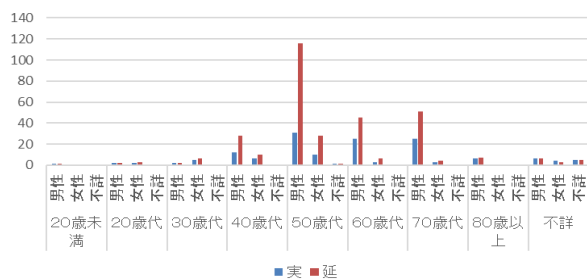


・相談者はどの年代においても男性の方が多かった。  
・中年期以降の相談が多かった。

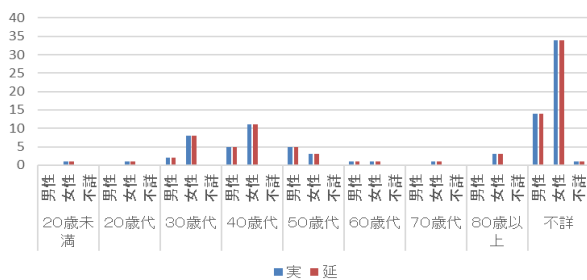
### 精保センター（相談全体）



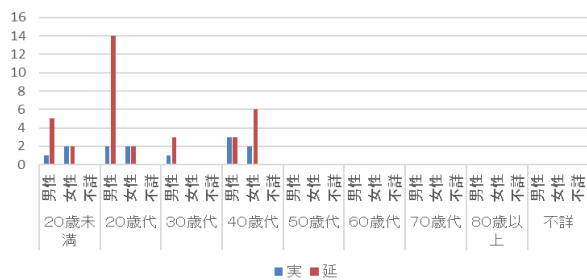
### 保健所（アルコール）



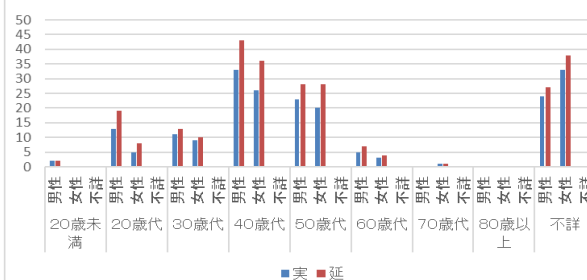
### 精保センター（アルコール）

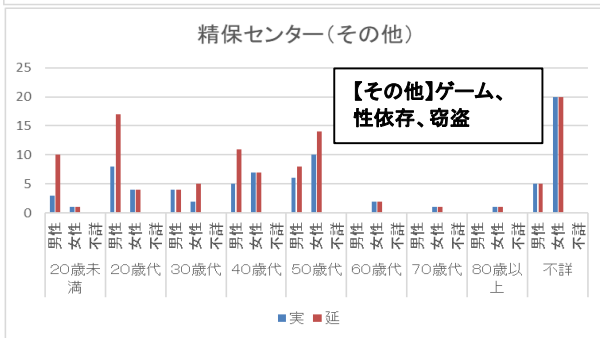
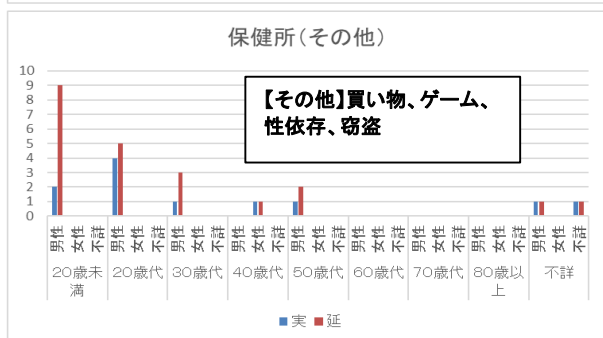
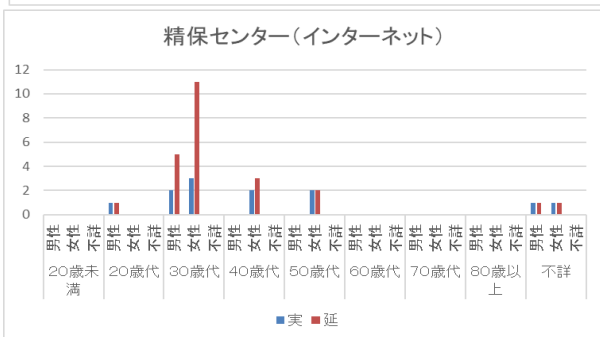
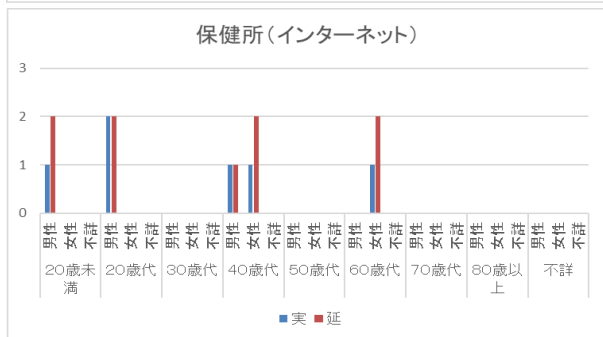
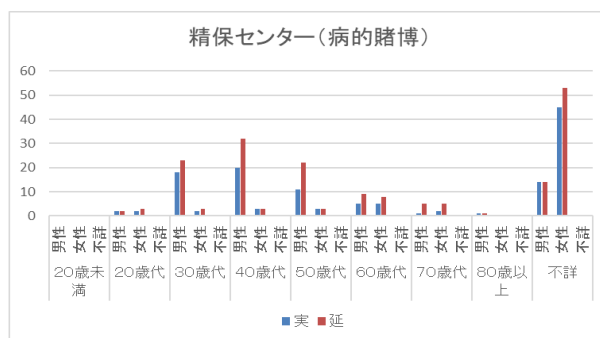
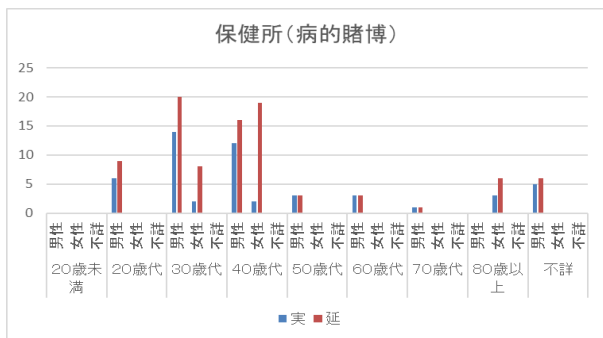


### 保健所（薬物）

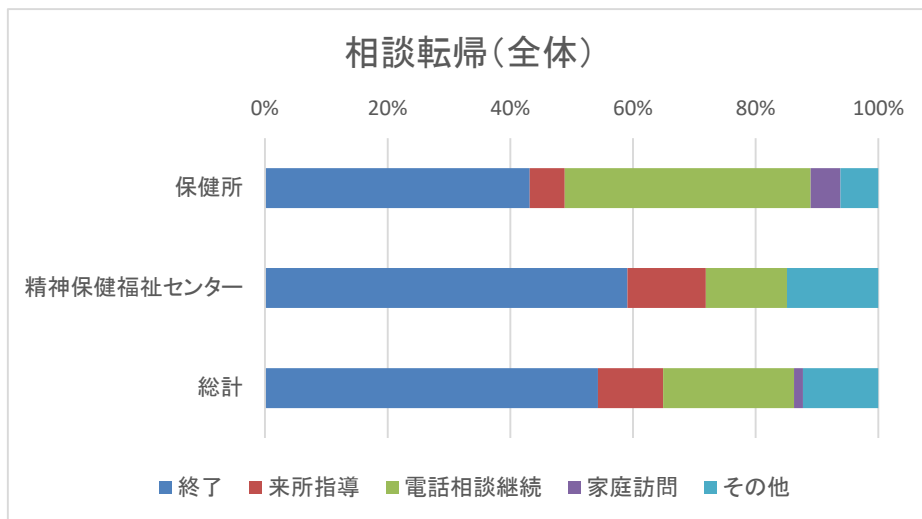


### 精保センター（薬物）



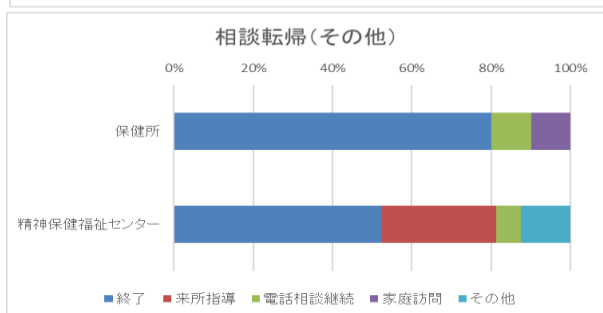
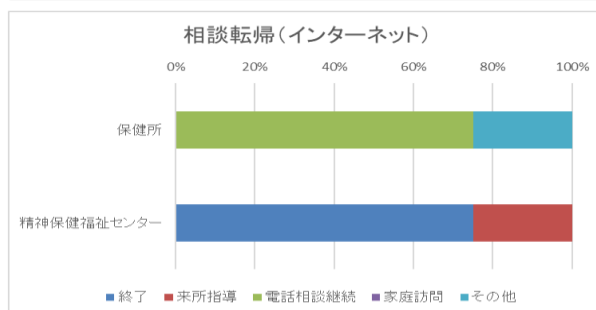
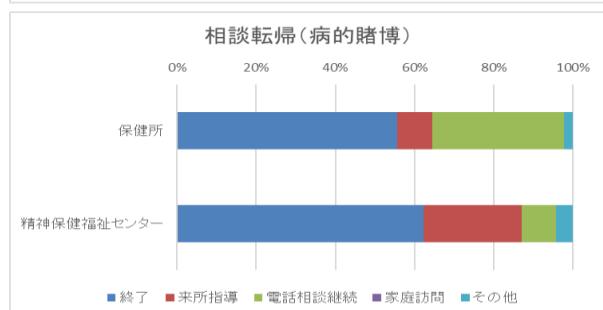
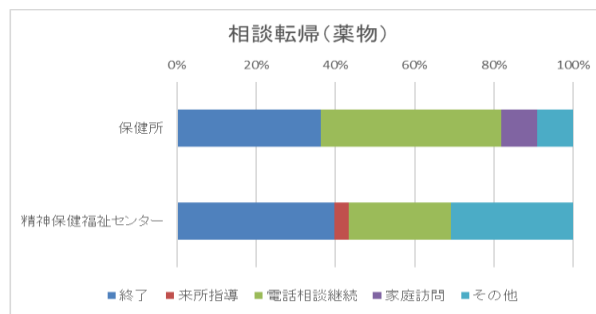
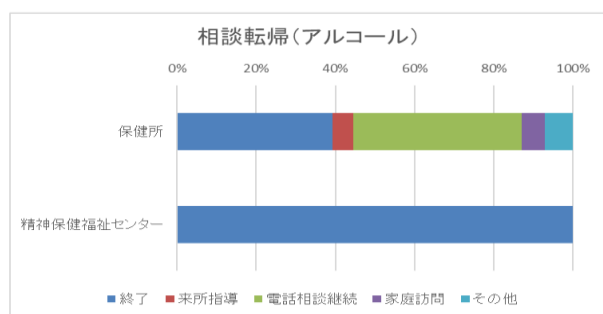


## 【相談転帰】



・各地域で対応している保健所は電話相談継続が多いが、専門性の高い精神保健福祉センターは相談終了または他関係機関につなげている割合が多かった。

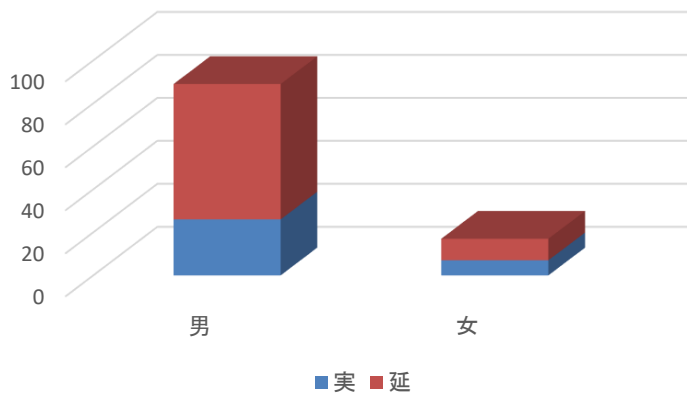
	終了	来所指導	電話相談継続	家庭訪問	その他	総計
保健所	98	13	91	11	14	227
精神保健福祉センター	309	67	69	0	78	523
総計	407	80	160	11	92	750



- ・保健所はいずれの依存症も継続相談につながるものが約半分以上であった。
- ・精神保健福祉センターは相談終了となる転帰をとるか、関係機関につなげる対応が多いが、薬物については継続相談になるケースも半数近くあった。

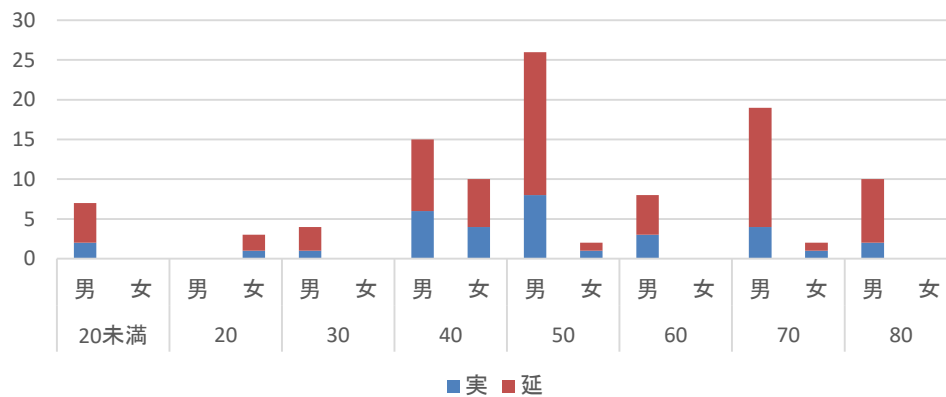
## 2. 訪問指導

訪問数(男女別)



・訪問指導は18保健所で実施。対象者は40代以上の男性が多く、疾患別ではアルコールが8割を占めていた。

訪問数(男女別・年齢別)



疾患別訪問割合(延)

